

K.S.J.

KAGAWA SHINREN JIHO
KAGAWA SHINREN KUMIAI HENGOKAI

香川県森連時報

29

平成30年1月発行(年2回/1月・7月)

謹賀
新年

新年のご挨拶

森は地球の財産です。

JForest

会長新年のご挨拶

香川県森林組合連合会 代表理事会長 木村 薫



新年明けましておめでとうございます。

森林組合の役職員をはじめ組合員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より本会の業務運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で豪雨災害に見舞われ、森林組合系統で大きな被害が発生した年となりました。特に7月に発生した九州北部豪雨では、森林組合関係者を含め多くの人命が奪われ、衷心よりご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

近年、局地的な豪雨が継続して発生する傾向があり、いっどこで被害が発生してもおかしくない状況の中、防災や減災、地球温暖化防止等、森林の持つ多面的機能の高度発揮がより一層求められております。

林業を取り巻く現状は、長期に亘る立木価格の低迷や、それに伴う森林所有者の経営意欲の低下等、依然として厳しい状況にあり、適切な管理や経営が行われない森林が増加することで山の循環が滞り、人工林の齢級構成は著しく偏っています。

このような状況の中、我々森林組合系統は、平成28年度より系統運動「JForest森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森林を活かして地域を創る～」に取り組んでおり、本運動では「効率的かつ安定的な林業経営による、組合員の経済的利益の向上」、「林業・関連産業の活性化による、地域社会の活力創造」、「森林の持つ多面的機能の高度発揮による、国民生活への貢献」の三つを目標としております。

また、平成30年度税制改正大綱では、「平成31年度税制改正において、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設する」と明記され、我々森林組合系統の長年に亘る悲願が結実しました。森林環境譲与税（仮称）については、平成31年より市町村及び都道府県に配分されることとなっており、我々は各地域において森林を適切に維持管理していかなければなりません。そして、それを実効あるものとする仕組みとして、意欲と能力のある林業経営者に森林管理を再委託する「新たな森林管理システム」が創設されることになっており、引き続き動向を注視する必要があります。

さて、昨年11月19日には皇太子殿下、同妃殿下をお迎えし、県内林業関係者の悲願であった「第41回全国育樹祭」がまんのう町の香川県満濃池森林公園で開催されました。県内外から約五千人の関係者が参加し、関連アトラクションも盛大に行われ、豊かな緑を次世代に継承していくことを誓いました。全国育樹祭の開催にあたり、ご尽力いただきました県をはじめとする関係各位に、深く感謝申し上げます次第です。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係機関各位のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、組合員の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

謹
賀
新
年

香川県森林組合連合会

代表理事会長 木村 薫

副会長理事 三角 正博

代表理事専務 道久 工

理事 有馬 督治

理事 松浦 可稔

理事 田中 邦男

理事 五所野尾恭一

代表監事 眞部 康寛

監事 三宅 義明

監事 辻 烈

報告 平成29年度森林組合職員研修会開催

7月13日(木)、14日(金) 本会2階会議室において、就業10年未満の森林組合職員研修会を開催した。2日間にわたり、「森林組合制度」、「森林組合法」、「林業労働安全衛生」等の研修を行ったほか、香川県みどり整備課より穴吹課長を迎え、「香川県の森林・林業・木材産業」等について、また、農林中央金庫高松支店からも宮城四国営業部長及び野島四国営業部主任を迎え、「コンプライアンス」、「商取引のリスク管理」、「接遇マナー」の研修を行い、本会の役員も含め県内の森林組合職員多数が受講した。



報告 四国四県購買担当者会議開催

8月8日(火)、9日(水) 本会2階会議室において、全国森林組合連合会系統事業部購買課の宮下氏を迎え、四国四県購買担当者会議を開催した。会議では各連合会からの提出議題の協議及び四国四県森連購買チームの検討や各県の系統購買の取り組みについて情報交換を行った。また、メーカーより安全対策用品や獣害対策資材等の商品説明があり、各連合会の担当者は実際に商品に触れてみて、今後の系統購買推進の検討を行った。



報告 四国四県指導担当者会議開催

8月29日(火)、30日(水) 本会2階会議室において、全国森林組合連合会富山参事兼組織部長を迎え、四国四県指導担当者会議を開催した。会議では各連合会の指導事業・事業運営全般に亘る諸問題について、全森連のアドバイスをいただきながら各連合会提出の議題を熱心に討議し、盛会のうちに会議を終えた。



報告 第41回全国育樹祭に使用する県産材木製ベンチを贈呈

本会と農林中央金庫高松支店は、第41回全国育樹祭会場で使用される木製ベンチを香川県に贈呈することとし、10月3日県環境森林部長室にて行われた贈呈式で県産材木製ベンチ40基の目録を手渡した。贈呈式では本会の木村会長が「第41回全国育樹祭開催のため役立てていただきたい。」と挨拶を行った。



報告 平成29年度第1回森林組合長会議開催

10月4日(水) 本会2階会議室において、第1回森林組合長会議を開催した。会議では県知事並びに県議会への陳情や、系統運動推進についての討議が行われた。



報告 2017ウッドィフェスティバルに参加

10月7日(土)、8日(日)の両日、市内のイベント会場「サンメッセ香川」において、浜田恵造香川県知事、中村貴紀香川県環境森林部長、五所野尾恭一香川県議会議長、池本育利香川森林管理事務所長、宮本欣貞香川県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟会長、都築信行香川県議会環境建設委員長らを迎え、「香りの豊かな香川のヒノキ」をテーマに「第30回ウッドィフェスティバル」が開催された。本会も香川県木材需要拡大協議会会員として参加、「ヒノキDEわーくわーく体験」の「山コーナー」を担当し、ヒノキ苗木の植栽体験やヒノキの間伐体験を担当した。



報告 四国子どもとおとなの医療センターに木製品を贈呈

本会と農林中央金庫高松支店は、病院を利用する子どもたちに木のぬくもりを味わっていただくため、善通寺市の「四国子どもとおとなの医療センター」に県産ヒノキで作られた電波式時計35点や下足箱1点を寄贈し、10月14日贈呈式が行われた。同センターに木製品を贈呈するのは今年で3回目となり、贈呈式の後、同センターの中川院長からは感謝状が本会の木村会長に手渡された。今回の贈呈は同医療センターの要望に応え、手作り時計のキットを贈呈するという新しいスタイルを提案し、このキットを活用して病棟の職員が時計を製作、「ものづくり」を通じて患者に安らいでいただける病院づくりを目指すということで大変好評なものとなった。



報告 平成29年度JForest全国森林組合代表者大会に出席

10月30日(月) 東京都千代田区の砂防会館において平成29年度全国森林組合代表者大会が開催され、香川県内の森林組合役員9名が出席した。大会はJForest森林組合綱領唱和、主催者挨拶、来賓挨拶、来賓紹介のあと表彰が行われ、香川東部森林組合の有馬督治組合長及び香川西部森林組合の三角正博組合長、和田一郎作業班長の3名が功労者表彰を受けた。大会は意見表明の後、7つの大会決議を採択し、参加者全員で力強く「がんばろう三唱」を行って閉会した。その後、本県選出国會議員7名に林業施策の陳情を行った。



報告 第41回全国育樹祭に出席

11月19日(日) 皇太子殿下、同妃殿下ご臨席のもと、香川県満濃池森林公園において「森を育てる豊かな暮らし 森が育む確かな未来」をテーマとして、第41回全国育樹祭が開催された。式典では皇太子殿下が昭和63年の「第39回全国植樹祭」で現在の天皇、皇后両陛下がお手植えされたヒノキとクロガネモチの枝打ちと施肥をされたほか、皇太子殿下がお言葉を述べられた。メインテーマアトラクションでは「響け！"みどりの交響詩"」と題して岡野弘幹、小松玲子氏ほかの演奏や川井郁子氏による詩の朗読が行われ、香川県の森林組合からも多数の役員が出席した。



皇太子ご夫妻が樹木のお手入れをされる際には次代を担う香川西部森林組合の合田口圭介及び本会の國方美妃の作業員2名が介添え役を務めたほか、本会作業員の前田宏美が「誓いのことば」を述べるなど、重要な役目を果たした。

報告 林業労働安全衛生研修会開催

11月6日(月) 塩江町森林組合、15日(水) 香川西部森林組合、30日(木) 香川東部森林組合において、林業安全技能師範の陶山芳伸氏、同宮本光芳氏を講師に迎え、林業労働安全衛生研修会を行った。研修会では昨年に引き続き、林業・木材製造業労働災害防止協会が作成した簡易リスクアセスメント記録書に基づき、グループに分かれて危険性又は有害性の洗い出しや、その低減対策を検討し発表を行った。総勢126名の林業事業者関係者が出席し、チェーンソー作業従事者については、振動特殊健康診断も行った。



報告 県知事及び県議会に要望書提出

12月7日(木) 本会と県内森林組合長会議は、低迷が続く林業情勢の中で育樹祭を契機とした森林整備の推進、里山再生の推進、県産木材・里山資源の利用促進について、浜田香川県知事並びに五所野尾香川県議会議長に要望書を渡し陳情を行った。



報告 かがわ協同組合連絡協議会の中央公園清掃活動に参加

12月9日(土) 当会をはじめとする県内の11団体が構成する「かがわ協同組合連絡協議会」は、高松市の中央公園で清掃活動を実施した。同協議会は協同組合の価値や社会における役割を県民に認知してもらい、連携して新たな価値を創出することを目的に平成25年6月に設立されたもので、総勢約50名が参加、同公園や周辺の歩道の清掃を行い、本会からも参加した。同協議会による清掃活動は4回目、使用済み切手を回収し香川県ユニセフ協会に贈呈するなどの活動も行っている。



特集

さぬき空港公園便り

本会がさぬき空港公園の指定管理に取り組んで、はや6年目、指定管理が更新されて最初の年となります。指定管理の更新の際には、新規のイベントの開催や、来園者の利便性の向上、公園のPR活動の促進を提案しました。

具体的には、今まで開催していた「真夏の雪遊び」や「夏休み宿題応援団」、「健康ミニマラソン」などのイベントに加え、新たに「身体障がい者を対象としたグラウンド・ゴルフ交流会」の開催や、「天体観測会」、「アジサイなどの花の鑑賞会」のほか、様々なイベントを提案致しました。今年は、身体障がい者を対象としたグラウンド・ゴルフ交流会を11月3日に開催しました。開催に際しては、トイレまでの距離や



身体障がい者を対象としたグラウンド・ゴルフ交流会

トイレ内の段差や公園内のバリアフリーになっていない箇所など、今まで考慮できていなかった場所が確認でき、また、介護職員の方々からの有意義な意見を得ることができ、大変勉強になりました。このグラウンド・ゴルフ交流会については大変好評で、来年も開催して貰いたいとの意見が多く、来年に向け、現場での意見をフィードバックし、より安全で利便性の高いイベントを行っていきたくと考えております。

また、「アジサイなどの花の鑑賞会」は会場の選定を始めました。来年に植栽を行い、実際に鑑賞会が開催できるのは、2~3年後になると思われませんが、さぬき空港公園がアジサイなどの花の名所となるように整備を行って参る所存です。

次に利便性の向上策として、グラススキー場の利用者増加に向けて、本公園のグラススキー指導員の能力向上のための研修会を実施しました。上級者・中級者向けのグラススキー教室を毎月定期的で開催するため、インストラクター資格の取得を目標とするとともに、より高度な指導ができるよう、指導員の能力向上に努め、リピーターの増加につなぐことが出来ればと考えております。このほか、公園施設としては、改善の意見が多かった和式トイレの洋式化を今年2月より実施します。これは、一般家庭での洋式トイレの普及により、和式トイレに不慣れな方が増え、幼稚園・保育園の遠足で利用する際、トイレに関するトラブルの発生や、グラウンド・ゴルフ等で本公園を利用する高齢者の方からの洋式化の要望が多く、公園の利便性向上の最優先事項として提案してまいりました。公園には多数のトイレがある為、すべてではありませんが、より利用率の高いトイレから優先的に洋式化を推し進めていきます。

公園のPR活動としては、「さぬきこどもの国」「総合園芸センター」「高松空港」等の周辺施設との連携を促進してまいりました。具体的には、各施設のイベントの際の駐車場の貸出やリーフレット等の設置、イベント情報の交換を密に行ってまいりました。特にさぬきこどもの国とは、それぞれの有料施設の利用向上のため、利用回数に応じた割引券の配布などを検討中です。年間60万人を超える来園者が見込まれるさぬきこどもの国で、さぬき空港公園のPRが可能であるなら、大きな集客につながるものと考えています。

次に、平成29年度の主なイベントについてですが、例年開

催している「真夏の雪遊び・夏休み宿題応援団」は、天候にも恵まれて1,084名の方に参加して頂きました。特に、午前中に瀬戸内海放送の取材があり、夕方のニュースでイベントの紹介をして頂きました。また、噴水のイベントは、取水制限が7月から9月後半まで続いたため、噴水の稼働停止を余儀なくされ、開催できませんでした。秋に開催した一輪車教室も好評で20名



真夏の雪遊び



噴水の稼働状況



一輪車教室



グラススキー感謝祭

以上の方に参加申し込みをして頂き、今後とも開催してもらいたいとの要望も多数寄せられました。さらに、グラススキー感謝祭では、世界大会優勝経験者の新谷起世プロのレッスン会を開催し、グラススキーが初めてのお子さんも楽しんでいらっしゃいました。例年人気の高い健康ミニマラソンは4回目の開催となり、今年も12月23日に開催しました。申込者数は、昨年度より若干減少しましたが、それでも147名の方々にご参加いただき、そのうえ当日飛び入りの参加者もいらっしゃいました。イベント当日は快晴で気温も高

く、小学校1年生から60代の方まで皆さん楽しくマラソンをして頂けたと思います。

来年度に向けての準備として、現在、最初の大きなイベントである花見の準備を行っています。さぬき空港公園の花見は、隠れた名所として年々花見客が増加しており、3月下旬から4月中旬まで多くの花見客で賑わいます。トラブルが発生しないよう、また、より来園者の皆さんに楽しんで頂けるよう準備を進めてまいります。また、花見時期の開園時間延長については例年どおり開花予報や開花状況を考慮して、ホームページ (<http://sanuki-airport-park.com>) やその他広告媒体で広報させていただきます。



健康ミニマラソン

最後となりますが、本会がさぬき空港公園の指定管理を5年間務められ、また再度の指定管理を任されることとなりましたこと、関係各位の多大なるご支援、ご協力によるものと深く感謝するとともに厚くお礼を申し上げます。これからもスタッフ一同公園の適切な管理運営と県民サービスの向上に全力を挙げて取り組んで参りますので、これまで同様にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

